

県内初「新聞カフェ」

川崎医福大 記事読み議論

大学生たちが新聞を
読んで社会に目を向け
る「新聞カフェ」が17
日、本年度NIE実践
指定校の川崎医療福
祉大（倉敷市松島）で



教育に新聞を

開かれた。県内初の試
みで、学生たちが記事
を切り抜いて、オリジ
ナルの新聞を作るワ
ークショップ「まわし
よみ新聞」に取り組
んだ。

同カフェは、地域で
新聞を活用する取り組

みとして全国各地で開
かれていく。同大は、
今月から学内に開設し
た「ラーニングサポー



「新聞カフェ」でまわしよみ新聞
に取り組む川崎医療福祉大の学生

トセンター」の事業と
して企画。月1回程度
で定期開催する。

初回は、医療技術学
部生を中心とした約20
人が4、5人のグルー
プに分かれ、事前に用
意された新聞を熟読。

西日本豪雨
に関する記
事やスポー
ツ、娯楽、
地域ニュー
スなど興味
を引かれた
記事を切り
抜いて内容
について語
り合い、模
造紙に貼り
合わせて新
聞を作り上
げていた。

同学部4

年小倉弘之さん(22)は
「記事について語り合
うことで、世の中の出
来事や友人の考え方に
触れることができた。
また参加してみたい
と話していた。

(大石哲也)